平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 個人県民税対策課 扣当名: 企画指道扣当

> 内線: 2646 (単位:千円)

									13//31 = 0.0 (1 12 - 1.13)
番号		事業名					項	目	説明事業
B12	個人県民税税収確保促進事業費					総務費	徴税費	賦課徴収費	個人県民税対策費
事 業	平成26年度~	根 拠	地方税法第41条			単	略項目		
事 業期 間		法 令				5	野施策		
1 事	業の概要	5 事業説明							
木県の県税納税率は4年連続で全国最下位となり そ				(1) 事業内容					

の大きな要因は市町村で賦課徴収される個人県民税の納 税率低迷にある。他都道府県に先駆けた現年課税分対策 を実施し、年度内の税収確保を確実に推進する。また、 市町村の滞納整理に取り組む職員の人材を育成すること により県税納税率の飛躍的な向上と大幅な増収を図る。 印刷製本費の入札差金発生等に伴う減額。

- (1) 特別徴収全県一斉指定事業 839千円 交付団体数が減少したことによる減額。
- (3) ペイジー口座振替受付サービス導入事業補助金 10,500千円

事務費節減等に伴う減額。

(4) 実務研修生受入拡大事業

346千円

- 2 事業主体及び負担区分
- 1,2,4 (県10/10)
- (県1/2)市1/2
- 3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用)
- (区分)総務費(款)徴税費(細目)徴税費

(細節)一般経費(積算内容)税務行政の広報・啓発、 徴税強化に要する経費

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9.500千円×5人=47.500千円

- 1 特別徴収全県一斉指定事業

(ア)特別徴収一斉指定を直接事前周知するための概要書作成

3.607千円

(イ)円滑な指定を推進するための事業者向け事務手引作成

4.137千円 147千円

(ウ)会議費用

2 納期内納付広報事業

2.771千円

(ア)第1期納期内納付キャンペーン

1.539千円 1.232千円

(イ)コンビニレジ液晶画面による納期内納付の周知徹底

3 ペイジーロ座振替受付サービス導入事業

21.000千円

4 実務研修生受入拡大事業

3,455千円

- (2) 事業計画
- 1 特別徴収全県一斉指定事業

個人住民税の給与からの特別徴収一斉指定への取組を円滑に推進するため、徹底した周知を行う。

2 納期内納付広報事業

納期内納付を広く周知するため、第1期の納期内納付を集中的に周知するとともに、従来の広報媒体と異なるコン ビニエンスストアのレジ画面を利用した周知徹底を行う。

3 ペイジー口座振替受付サービス導入補助金

口座振替率を向上させるためペイジー口座振替受付サービスの導入を図る市町村支援として、ペイジー口座振替 受付サービス導入経費の1/2を補助する。

4 実務研修生受入拡大事業

市町村から実務研修生を多数受け入れ、県が市町村から引き継いだ高額困難滞納事案の滞納整理を通じて、徴収 技術の習得の支援を行い、当該市町村の徴収事務の中核となる職員を育成する。

- (3) 事業効果 個人県民税の現年度納税率の向上が図られ、自主財源である県税収入が確保される。
- (4) 補正予算の概要
 - (1) 特別徴収全県一斉指定事業:印刷製本費の入札差金発生等に伴う減
 - (3) ペイジー口座振替受付サービス導入事業補助金:交付団体数が減少したことによる減
 - (4) 実務研修生受入拡大事業:事務費節減等に伴う旅費、通信運搬費の減

				A.D (4) -			
予算額						一般財源	補正後の 予算額
決定額	11,685					11,685	23,432
現計額	35,117					35,117	